# 真声会 会報

第 52 号

2011年6月24日 発行

発 行 所

京都市立芸術大学音楽学部同窓会真声会

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13番地の6 京都市立芸術大学音楽学部内 TEL (075) 334-2222 FAX (075) 334-2345 同窓会事第 TEL (080) 6185-4494 e-mail: shinsei@kcua.ac.ip

# 真声会 総会のご案内

平成23年度(2011年度)真声会総会及び懇親会を、来たる7月10日(日)に右記の通り開催いたします。

今回の総会では、創立130周年事業、新同窓会HP、同窓会事務室週3日体制などの報告のほか、次期役員選出選挙の報告により、本部役員の新体制が始動いたします。

会員の皆様方にはお誘い合わせてご参加いただき、よき 交流の場となることを願っております。

ご多忙とは存じますが、是非お運びくださいますようご 案内申し上げます。 時:2011年7月10日(日)

総会 10:00~(9時30分より受付)

懇親会 12:00~14:00頃まで

会 場:からすま京都ホテル(京都市下京区烏丸通四条下ル) TEL 075-371-0111

TEL 075-371-0111

会 費:4000円(当日会場にて受付)

#### 総会議題:

- 1. 2009年度・10年度事業報告について
- 2. 2010年度会計報告、並びに監査報告について
- 3. 2011年度予算案について
- 4. その他

○同封のハガキにて総会の出欠を**7月5日必着**でお知らせくださいますようお願いいたします。(**7月5日以降は投函しないでください**)

〇総会についてのお問合せは、運営委員長 佐々木研(10期打)まで

# 役員改選選挙について

2011年4月20日までの投票について、4月23日(土)午後2時より5時まで同窓会事務室において、佐藤敏子選管委員長、西村靖子選挙管理委員、小室彰子選挙管理委員の三名の出席(豊住征子選挙管理委員欠席)により開票作業が本部役員の山本会計委員と中村編集委員の二名の立ち会いのもと行われました。

集計結果をお知らせします。

(得票10票以上)

士

55期	佐渡春菜	10票	26期	辻田結城彦	10票	13期	貞広辰雄	10票	
51期	中村公俊	10票	24期	山本毅	24票	12期	朴 実	15票	
50期	石若雅弥	14票	24期	田中修二	13票	12期	伊吹元子	14票	
48期	奥田聖子	11票	23期	土肥寿美子	12票	10期	佐々木研	24票	
35期	土居知子	33票	22期	井上まゆみ	11票	10期	大西多恵子	15票	
34期	青木耕平	15票	20期	上村 昇	21票	9期	奥 道子	12票	
33期	高畑園子	10票	20期	井出 悟	32票	8期	藤井園子	44票	
32期	中村典子	17票	20期	辻 浩二	12票	8期	斉藤隆子	12票	
32期	大谷正和	25票	19期	樋上由紀	21票	8期	田中美鈴	23票	
31期	杉江 康	14票	19期	杉中 博	17票	6期	金森重裕	53票	
30期	日紫喜恵美	11票	18期	中谷 満	14票	5期	小川隆宏	11票	
29期	平田あゆみ	10票	18期	田代晶子	10票	3期	蔵田裕行	33票	
28期	十河陽一	11票	16期	三井ツヤ子	49票	2期	伊吹新一	21票	
27期	若林義人	10票	16期	阪田誠康	23票	1期	大村益雄	54票	
26期	三森尚子	19票	15期	松本真理子	14票	1期	合田史郎	19票	
26期	大嶋義実	12票	15期	青谷哲也	12票	 			

# 新鮮な出会い

京都市立芸術大学学長建畠 哲

本学は昨年、創設130周年を迎え、音楽学部も前身の短大時代を含めれば来年で60年という歴史を誇っています。卒業生の方々の最近の国内外でのご活躍は、在学生たちの仰ぎ見る目標であり、新米の学長としても誇らしい限りです。

本学に奉職して半年余りになりますが、美術館勤めが長かった私にとって、その間の一番新鮮な経験は、実のところ音楽学部の方々との出会いでした。それまでは音楽家は自分とは切り離されたステージの上の存在であって、客席から拍手するのが唯一のコミュニケーションの方法だったのが、今は役得というべきか、コンサートの後や学内外の会議などで親しく会話をする機会が増えて来たのです。

こちらは歌っている時、演奏している時、指揮している時の音楽家しか知らなかったわけですから、そのような"ステージの上のまばゆいカリスマ"であった方々と会議などで隣り合わせになるというのは、不思議といえば不思議な時間でした。舞台の幻影が生身の人物と重なってしまい、当初はどんなことを話題すればいいのやら、大いに気遅れもしたのです。

美術の場合は作品は作品だけで成立しているのに対し、音楽では人が介在しければ作品は成立しません。楽譜だけを見て感動することもあるかもしれませんが、それはやはり鑑賞体験とは言い得ないでしょう。性格のまったく異なる二つのジャンルの学部が同じ大学に共存しているのは、きわめて興味深い事実ですが、しかし考えようによっては、両者は以外に近いところがあるのかもしれません。たとえばグラフィック・スコアーを見ると、絵画にもひょっとして楽譜的な要素が潜んでいるのではないかと思えてくるのです。無自覚的にではあれ、私たちは絵画を読み、その音を聞いているのではないか……。そんな自由な発想が浮かんでくるのも、新しい職場ならではのことでしょう。

ところで舞台の上の怖そうなカリスマも、実際に会ってお話してみると、結構、陽気でおしゃべりな方が多く、ほっとしています。できれば両学部の交流をもう少し活発なものにしたいものですね。本学は来年に法人化を控え、いまその準備に大わらわですが、新体制をさらなる飛躍の機会とすべく、真声会の皆様にもいろいろご指導、ご声援を賜ることもあろうかと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

#### 東日本大震災 災害支援チャリティー オークションの参加について

東日本大震災は、わが国に未曾有の災害をもたらしました。いまなお多くの方が行方不明で、原発の被災も余断を許さない状況です。こうした悲惨な出来事を前にして、私たちはアートに何ができるのだろうかと議論を重ねてきました。「SIRENT®KCUA(サイレントアクア)」と称するチャリティ・オークションは、その中から生まれたアイデアです。昨年、堀川御池に新設された京都市立芸術大学ギャラリー®KCUA(アクア)を会場にした6日間のイベントですが、出品されるのはすべて葉書大の小品で、画面にはサインがないために、ギャラリーの壁一面に並ぶ画面の絵柄だけで判断して入札し、落札後に初めて作者名が分かるというスリリングな仕掛けです。落札総額はすべて被災地に義援金として送られます。

教授陣、卒業生の皆様から現役の学生諸君まで多くの方に参加していただくこと自体が、芸術大学としての復興への願いを被災地の方々にお伝えすることになるのではないでしょうか。このユニークなオークションの趣旨をご理解賜り、是非とも入札に参加していただくようお願い申し上げます。

京都市立芸術大学SIRENT@AQUA実行委員会 委員長 建畠 晢(京都市立芸術大学学長)

会 期:平成23年7月5日(火)~7月10日(日)

会場:京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA (京都市中京区堀川御池東入る北側)

※京都市立芸術大学の卒業生、学生、教員は学部を問わず美術 &音楽から出品できます。

# 創立130周年を終えて

#### 音楽学部長 山本 毅

京都市立芸術大学創立130周年記念の年であった昨年、大学を挙げて様々な記念行事が行われ、音楽学部も3つのコンサートとオペラ公演を挙行することができました。

- ・第133回定期演奏会~市民参加によるベートーベン第九コンサート~ (130周年プレコンサートとして)
- · 第135回定期演奏会

士

- ・第136回定期演奏会~更なる復活~
- ・大学院オペラ公演「椿姫」

の4公演です。

今、これらの3つのコンサートとオペラ公演のプログラムを見つめながら、 感慨を禁じえない思いです。プログラムを見ているだけで、この京都芸大と 音楽学部の歴史が、そしてこの記念の年が、真声会の皆様のご支援と京都市 民の応援に支えられてきたのだということが、明らかに見てとれるからです。 本学の、音楽学部の歴史は大学だけで作り上げてきたものでではない、卒業 生と市民の皆様のご理解、ご支援あってのものだということがわかります。

第133回定期演奏会は阪哲朗氏の指揮のもとに演奏されました。阪氏は言わずと知れた真声会員です。

ソリストの顔ぶれを見ても菅英三子女史、三井ツヤ子女史、北村敏則氏と 3名の真声会員の名が並びます。またオーケストラのメンバーや合唱団員に も真声会員が多数参加して下さっており、そこに表題のとおり市民の方々が 加わって下さいました。次の135回定期演奏会こそ、ほぼ学生と教員のみによって演奏されたのですが、136回定期演奏会〜更なる復活〜では、再びソリストに上野洋子女史、そして合唱には真声会員の皆様と市民の有志の方々の参加をいただきました。オペラ公演「椿姫」ではキャストに真声会員である教員が参加しているのみならず、真声会員の皆様のご浄財による尊いご寄付がなければ、公演そのものの成立さえ危うかったことでしょうし、何より、真声会員の皆様、市民の方々がご来聴くださらなければ、どんな公演も無意味です。

指揮者の顔ぶれも列挙すると、真声会員・阪哲朗氏、本学教員・増井信貴教授、そして京都市交響楽団常任指揮者・広上淳一氏と、大学、真声会、そして京都市の三位一体の関係が如実に表れています。

このことは、今後の京都芸大の成長と発展のためには、この三位一体の関係をますます深め、相互に協力し合い、刺激し合って、互恵の関係を造り上げていかねばならないことを示しています。それが、単に大学のため、音楽学部のためということにとどまらず、京都の音楽文化発展のためにぜひとも必要なことなのではないでしょうか。

前回の規約改正で、学生も入学時より会員として真声会に加わることになりました。音楽学部と真声会はますます密接に関わりを深めつつあります。 130周年にあたってのご協力、ご支援に心からの感謝を申し上げますとともに、 今後のますますのご支援をお願いする次第です。

# \$ CATOLIC CATO

# 音楽学部同窓会「真声会」の活動

#### 京都市市立芸術大学音楽学部同窓会真声会会長 大村 益雄(1期 作曲)

このたびの東日本大震災は原発事故が重なり、心が痛む状況が今も続いて 振り返れば4年前におります。被災された多くの方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、 実施されてきました。 心ならずもお亡くなりになった方々に深く哀悼の意を表します。 1)京都芸大創立130人

真声会会員、京都芸大関係者の中に、関東を含む東日本の震災地域に住んでおられる方が約270人おられました。震災直後、約四週間の間に、その方々全員に本部の役員が手分けをして、一人ずつ連絡の取れる方に電話を掛け、お見舞いの言葉を述べると共に、各人の無事を確認致しました。津波に家を流されるなどの大きな被害に直接遭われた方はおられず、ひとまず安心をいたしました。しかし、今回の災害は、国難とも言うべき、未曾有の大災害であり、被災された方には、長期に亘って応援、援助をしていく必要があります。真声会会員のみなさまは、既に、個人として、グループとして、赤十字や共同募金など、幾つかの援助機構を通して、さまざまな協力を行っておられることとは思いますが、今後、真声会全体として、真声会らしい独自の方法を考え、義援をしていきたいと思っていますので、その節はご協力下さいますようお願い申し上げます。

さて、真声会会員は、2年前から学生会員が加わり、現在では、年齢的にも18歳から80歳代に広がり、3000名を超える会員組織となりました。そして、真声会の役割は、更に幅広く、会員全員に役立つものへと高めていく必要があります。そのための活動の基本は、次の3つであると思います。

- 1)会員間の互恵 社会活動を経験した先輩は、後輩のために、また、新進気鋭の若手会員は、中堅、年配の会員のために、社会的、音楽的活動を通して、お互いに良い刺激を与え合うこと。
- 2) 社会への貢献 京都芸大卒業生は、グループ活動や支部活動を通して、自らをアピールすると共に、お互いが協力して京都芸大の社会的認知度を高め、結果として幅広く地域社会に貢献すること。
- 3) 母校京都芸大への協力 公立大学法人化へと向かっている母校京都芸大の更なる発展のために、卒業生は、さまざまな角度から、積極的に協力していくこと。そして、真声会の運営は、各年代、各年齢層の人々の意見を率直に取り入れ、実行可能なものはそれぞれが責任を持って実施していくことが必要です。

振り返れば4年前に現在の本部役員が決まり、みんなの協力で次のことが 実施されてきました。

- 1) 京都芸大創立130周年記念事業への全面的協力。
- 2)2008年度版会員名簿の発行、会員証の発行、年2回の会報の発行。
- 3) 京都芸大内に同窓会事務室の設置(週1回より開始し、週3日運用となり、美術学部と一室を共用中)、会員の音楽的、学術的活動の紹介、真声会本部ホームページの作成およびその充実、ホームページ上での後援演奏会と学内演奏会の宣伝活動、等々です。

これらの活動は、全会員のご協力の賜であり、また、年度委員、支部役員を含む、全ての真声会役員のご尽力のお陰であります。ここに深く感謝を申し上げます。

クラシック音楽の社会的価値は、戦後の「有難い西洋音楽の時代」から、「音楽レッスン重用時代」を経て、さらに、「クラシック音楽を高度な感覚でエンジョイする時代」から「激動の社会の中にあって、真に必要とされる音楽表現を探求する時代」へと、移り変わってきています。時代の流れを、確実に、かつ、大胆に認識し、活動を推し進めていく必要があります。

自己表現をしようとする人間にとって、「自分は、自分の人生を、どう生きるのか」が、大切であるのと同じように、個性のある人間を育成しようとする教育機関は、社会情勢を踏まえながら、「今はどうあるべきか、将来はどうあるべきか、どのような音楽人、卒業生を輩出すべきか」など、あるべき姿を、常に追求していくことが、当然、大切です。現在と将来の理念、ビジョンが大切なのです。あるべきビジョンは直ぐには実現できないかも知れません。しかし、そのビジョンを持つことが、将来を方向づけ、発展させる原動力になります。在学生も、卒業生も、それぞれに、そのビジョンがあれば、自己を見つめて、自分なりの方向づけができるようになります。音楽学部同窓会「真声会」は、京都芸大の研究者、教育者、在学生と共に、会員すべての、個々の人間形成と、その成長、発展を希求していかねばなりません。それを具体的な形で推し進めていくことが同窓会の基本理念でもあり、ビジョンでもあると思うのです。みなさまのご協力をお願い申し上げます。

# 創立130周年記念事業のための第4回ご寄付をありがとうございました!

前回会報で創立130周年記念事業のための第4回ご寄付を呼びかけましたところ、会員の皆様から総額268,000円(振込手数料7,880円)のご寄付を頂き、まことにありがとうございました。この結果、計513件、総額1,993,120円(振込手数料50,330円)となりました。 金額の詳細等は、7月の総会にてご報告するとともに、次号会報にて発表させていただきます。

(寄付者一覧)																	
1期	大村	益雄	4期	石崎	靖子	7期	平田	冨美子	16期	大家	昭子	27期	曽我	尚江	43期	宮部	敦子
1期	西田	深春	5期	山本	家寛	8期	今井	悦子	16期	三井	ツヤ子	27期	野瀬	規子	45期	定金	麻衣子
1期	鈴木	節子	5期	吉富	真弓	8期	高野	紀久子	17期	村木	洋子	28期	三宅	マチ	45期	杉田	結里
1期	斎藤	栄子	5期	堀口	里子	9期	山中	義子	18期	橋本	硬	28期	玉井	幸子	49期	久野	泰典
2期	三木	みそら	5期	椿り	久美子	9期	泉	主右衛門	18期	柴田	千恵子	28期	落合	浩美	50期	古田	知
2期	三品	弘子	6期	岡田	雞	9期	武田	佳子	18期	佐々ス	木百合子	29期	駒田	さよこ	53期	水野	七菜子
3期	辻阪	乙絲子	6期	改田	麻紗子	10期	吉川	奎子	20期	内藤	泰子	32期	中村	典子	院21期	古瀬	真紀
3期	横山	叡子	6期	田村	直子	10期	木下	幸子	20期	酒井	豊子	34期	武田	佳美	54期	丁子	充
3期	越賀	和子	6期	白石	由紀子	10期	石尾	光子	20期	山本	和子	34期	小野	智子	54期	中島	麻弥子
3期	杉本	千代子	7期	森田	煦美子	12期	勝丸	紗千子	22期	小林	正夫	35期	福永	圭子	55期	大谷	加奈
3期	中田	安子	7期	坂田	蓉子	13期	松村	千恵子	24期	新実	悦子	37期	井澤	美帆	55期	中川	日出鷹
3期	島村	泰子	7期	尾上	玲子	15期	青谷	哲也	25期	雪原	典子	40期	西尾	由佳理			
4期	小林	和子	7期	天野	由紀子	16期	池田	美也子	26期	冨山	姫路子	42期	織田	貴浩			

## 卒業生としての想い

士

56期生 井上 拓 (テューバ)

卒業してからもう2ヶ月が経とうとしています。大学生活の4年間は本当に短いものでした。思い返せば夢と希望を胸に抱いて入学し、入学式で宣誓の言葉を述べたことがついこの間のように思い出されます。

この4年間の大学生活で多くの出会いがありました。音楽やそれ以外の多くのことを教えてくださったすばらしい先生方。共に笑い、楽しい大学生活を一緒に過ごした先輩や後輩の皆さん。そして何よりも共に切磋琢磨して音楽を勉強し、苦労を分かち合った同期生の仲間たち。これらの出会いは私にとってかけがえのない宝物となっております。

私は二浪してこの大学に入りました。現役で入った人達よりも2年年上で、はたして同期生のみんなと仲良くやっていけるだろうかという不安がありましたが、みんなはそんなことに関係なく非常に仲良く接してくれました。本当にうれしかったです。

一期一会という言葉があります。その時その時の素晴らしい出会い。 私はそれをこれからも大切にしていきたいと思っています。そしてこれ からの人生、困難という荒波が襲ってくることもあるとは思いますが、 それに勇気をもって立ち向かっていこうと思っています。

最後に私が出会った皆さんのこれからの人生が豊かで素晴らしいものになるように願うとともに、将来またどこかで再会できることを楽しみにしています。

# 4年で100人《会員だより》

#### 手持の真声会の記録を振り返る

1期作曲 中原 昭哉

今回突然に佐々木研編集委員長から真声会の会報に掲載する原稿の依頼を受けて数日どうしようかと考えているうちに戸棚から古い2冊の手書きのノート「真声会記録」を取り出し、40年ほど前の記録を振り返った。その2冊のノートは、昭和43年から昭和55年までの真声会の役員会の記録ー役員会の記録、会計報告、名簿作成の件など一、演奏会のプログラム、蔵田春平先生退官記念祝賀会(昭和44年3月30日)、4年制昇格にともなう芸大音楽学部の卒業生の真声会入会の件一芸大音楽学部1回生の代表 亀井正比古による真声会入会願(昭和44年7月4日)など一、私が真声会の会長を務めていたときに、ノートに小まめに書き止めていたもので、現在のようにパソコンにデータを収録保存出来る時代ではなかった。

いくつか、興味深い内容を取り出してみると、先ず、真声会の名称は、昭和30年4月、新井省吾第2代会長のときに決まったのであるが、このときの役員会で「真声会」のほかに「創芸会」という名称も提案されていた。ノートの記録には「真声」は「率直な声」というコメントが記されている。

次に真声会報はいつ発刊されたのであろうか。ノートの貼付けてある「真声会報 昭和43 no.1」(昭和43年6月22日)を見ると6月16日真声会ルームで開かれた役員会の報告の欄に「会報・研究誌を発刊する。」とあり、従って、「真声会報 昭和43 no.1」が創刊され、それまで真声会はまだ会報発刊の段取りには到らなかったのである。

もう一つ、音楽短期大学が芸大音楽学部に昇格したときに提起された重大な問題として、短大生の編入問題があった。ノートに挿んでいた1970年(昭和45年)5月、市立芸術大学音楽学部・音楽短期大学学生自治会執行部による「編入問題について(増刷版)」(全8枚)を見ると、1、編入問題の本質京都市立音楽短期大学の18期生から4年制カリキュラムを適用して京都市立

芸術大学音楽学部が発足したが、17期以前の学生や卒業生にも、平等の権利を認めて、通算4年間の勉強ができるようにして欲しいという要求がその本質である。——という論点で始まる。この要請は、当時の教授会に出された文面であった。

これより以前、真声会は京都市立音楽短期大学4年制昇格促進第1回演奏会(昭和34年12月14日、17日、祇園会館)、4年制昇格促進第2回合同演奏会(昭和35年4月25日、祇園会館)を開催したが、そのときのプログラムがノートに残されていた。思い返せば、この10年後に4年制昇格が実現したわけである。

―― 話は尽きない。誌面も限られているので、これで一応、筆を擱くことにしよう。 これを機会に2冊のノートをもう少し整理してみようと思います

\* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

#### 1期ピアノ 鈴木 安子

気がつけばもう来年には傘寿を迎える私。戦後の混乱の続く1949年秋、「堀川高校に音楽課程ができるから受けてみたら?」とのK先生の一言で好きなピアノが弾ける嬉しさのみで堀音へ。幸運にも専攻科、短大へと約5年半も学ばせて頂きました。卒業後は大阪の中学で11年間勤務の後ずっと今までピアノレッスンを続けています。最近は昔の生徒さん達も加わりミニコンサート等を楽しんでいます。

こんな私にも「貴重な体験でもあれば」と編集委員の方よりご依頼がありました。しかしお金を出せば何でも叶う時代に合うかどうかと思いつつ。

ピアノの故豊増昇先生は東京からあの頃は新幹線等が無く夜行列車で来られ一日中全員にレッスンを。又夜行で帰られ「寝台車の中で今日は誰が何を弾いたか曲と顔を思い出すのですよ」とにこやかに。又ピアノコンチェルトを先生が伴奏してくださった時に成安会館の新しいピアノは生徒が、先生は

学校から運んできたボロピアノで、と今思えば失礼なことですね、でもグラ ンドピアノが沢山無かった時代でしたから…。先生のご苦労を察すると同時 に今も先生の温かいお人柄を偲ぶ想い出の一つとなっています。故斎藤秀雄 先生の講座は音楽の表現法等分かり易く明確で印象深く今も大変参考になっ ています。ある講座の後「今夜は大阪のサンケイ会館で振るから来ても良い」 よ」と言われ友達と行きました。先生は開演前なのに入口まで来てくださっ て顔パスで入りました。このような恩恵は豊増先生からもあり今では考えら れないおおらかな時代だったことと思います。

京芸も堀音(今は二人に一台のグランドピアノ)を母体として考えるとも うすぐ60年人間でいえば還暦。創設から芸大に至るまでの苦難の歴史は是非 語り継いでいかねばと思います。最後に未熟な私を導いてくださった先生方 に厚くお礼を申し上げます。

\* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

#### 1期ピアノ 東 美保子

私は1期生、現在77歳です。卒業後のことをお話すると随分長い年月にな ります。

1954年、私は当時の短大を卒業後研究科に進み、故豊増昇先生と故下村和 子先生に師事しました。翌年、大阪学芸大学(現教育大)特設音楽課程三年 に編入学、引き続き専攻科に進みました。横井和子先生の厳しいレッスンを 受けながら、いろいろな演奏活動をさせて頂きました。

26歳の時、堀音の坂本栄三先生から「卒業生第一号だよ」といわれて、ピ アノの非常勤講師となりました。そして32歳で京都女子大学音楽教育の専任 になりました。65歳で定年退職するまで、大変良い環境のもと教育と研究に 専念することが出来ました。

今若い方々は、留学して立派な業績をお持ちでも就職が中々むつかしいこ とを考えますと、当時はよき時代であったと感謝せずにはいられません。

さて京都女子大と京都芸大はある意味でご縁があると思います。私の在職 中32期の大谷正和さんが、そして私の後任に35期の土居知子さんが専任とし て入られました。(他に非常勤でも何人か) 又契約教授として京芸名誉教授鳥 井晴子先生、下村和子先生、現在は田隅靖子先生が就任されています。

現在私は、昔の教え子で勉強を続けたいという人達が来てくれますので、 老体に鞭打っていっしょに勉強をしています。

振り返ってみますと、私の若い頃は今ほど世の中に音楽が溢れていなかっ たので、聞きたいと思えば自分で積極的に求めていかねばなりませんでした。 唯無我夢中でピアノに向かっていたことを懐かしく思い出します。年を重ね ますと音楽が心に沁みこんでくるといいますか、今まで聞こえなかった旋律 が聞こえたり、新しい発見をしたり、喜びは尽きません。

困難な時代に直面している日本の将来を案じながら、皆様のご活躍をお祈 りいたします。

\* \* \* \* \* \* \* \*

#### 1期声楽 廣瀬 義彦

#### 光を見た

士

16才の春、光を見た。戦争は終わったものの不安定な社会情勢と人心の荒 廃した時期に私は思春期を迎え、何を求めて生きるか迷っていた。学校でコー ラス部に誘われたことがきっかけになった「光との遭遇」でした。音楽の光 に導かれコーラス一筋64年、夢中で共に声をあげ、今年2011年7月に80才に なります。

#### 子どもたちと共に

学校勤務をはなれ子どもの合唱団を育成して37年、「子供たちに音楽を通し て良い子になってほしい」という願いをこめて指揮をとっていました。「グ ローバルな視点」でより大きく育ってほしいと、ヨーロッパへの演奏旅行も 6度実施した他、京都に来られた世界の実力ある少年少女合唱団の歓迎演奏 も10回以上する等グローバル体験を深めました。

#### ハンディのある人たちと共に

60才になった時「ハンディのある人とない人と区別なくベートーヴェンの「第 九」をやりたいので発起人になってほしい」とのお誘いを受けて資金づくり のチャリティーコンサートを行ない、それから以後19年(「命輝け第九コン サート」として、隔年・9回を終え来年2012年に10周年を迎える)私は合唱 指揮者としてこれを進めてきました。今後命ある限り継続してゆきたいと 思っています。

座右の銘 「忘己利他」己を忘れて他人のためにつくす

\* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

#### Credo in unum Deum

2期指揮 伊吹 新一 (故斎藤秀雄教授に師事)

標記は宗教ラテン語で"(われは)信ず唯一の神"と訳されています。ミサ 曲通常文の3楽章の始めの言葉です。[クレドは"信ず"] 英語のcredit (ク レジット「信用」)にカードを付けるとお手持ちの買い物カードのこと。[ウ ヌムは"唯一"][デウムは"神"]と訳します。ヨーロッパのキリスト教の世 界の人々でないと、神は [唯一]・神は [絶対] ということが理解できないと 思います。私たちの国は八百万の神がいます。父なる神は絶対的な存在で、 天地を創造しました。神は「ある」とか「ない」とかは相対的な私たちの世 界で、サイエンスも宇宙も総て「ある」「ない」の相対的な世界です。ミサ曲 通常文に「全能の父、天と地、見ゆるもの見えざるもの総ての創り主を信じ ます]とあります。父なる神は天地創造をしました。(釈迦は世界を作ってい ません)

信仰のない人に、神を信じさせるには、巧みな話術・説得力・表現力・寓 話を(顔、手の表情、身体などを使って)エネルギッシュに、また物静かに 語るのです。ヨーロッパの文芸の表現の上にもあらわれています。言ふくめ を修辞学というものだろうと思います。

瀬戸内寂聴尼が、ヨーロッパの歴史を貫いている、キリスト教養またキリ ストの信仰がなければヨーロッパの小説がわからないのではないかと、よう やく考えるようになりました。

司馬遼太郎氏も、さる日の講演で西洋の音楽や文学その他の芸術も、2000 年の歴史のキリストを知らないと理解できないことがある。更に神は[絶対] であることを知らないと損をすると。司馬氏はクリスチャンに、なりなさい とはいっていません、……。

The Bookといえば聖書のことだと知りました。今も聖書は世界のベスト セラーです、ホテルの部屋には必ず聖書が置いてあります。ロマン・ロラン 著の「第九交響曲」のブックカバーに [(全人類のミサ) と言はれるベートー ヴェンの第九、これは世界征服した、精神による征服。ここにある音の章句 は、福音書と同じ力を含んで居るからだ」と。

我の家は仏教ですが、私は神の絶対を感得して、ウィーン・シュテファン 大聖堂の典礼ミサ奏楽の指揮台に立ちました。1995年はハイドンの [テレジ ア] ミサをウィーン・シンフォニエッタにより、2001年はモーツァルト [戴 冠] ミサをドーム・オーケストラ・合唱は2度とも [京都楽友合唱団] で奏 楽をいたしました。この実況はオーストリア全国に放送されました。終了後、 大司教様から赤い蝋で封印された濃い緑の箱を頂きました。中身は、シュテ ファン大聖堂のオルガンのパイプの一部分で、枢機卿とウィーン市長のサイ ン入りの証明書をつけて戴き、身に余る光栄で我が家の家宝としています。

#### \* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

10期声楽

長尾 槙子

私は音大卒業以来、ず一っとコーラス大好き人間で、多い時は3つの団に 通っていました。混声、女声、少人数のアンサンブルと云う具合で…、今は 2つの団に通っています。その当たり前のコーラス生活が、あの東日本大震 災の後しばらく出来ませんでした。当日は、私は友人と渋谷で会っていまし た。経験した事の無い大きな揺れに恐くて動けませんでした。電車が全て止 まるなんて事は、一度もありませんでしたので、その内動くだろうと、友人 とお茶を飲み、まだ動かないので夕食を取り夕方になりました。その頃にな るとラッシュと重なり渋谷は大変!バスに乗ろうとしても、どこが最後尾か 分からない程の列でした。5度の寒空の中、震えながら待つ事2時間半、やっ と乗れたバスは歩くより遅い有様。15分位で行ける所へ2時間かかり、その 後、歩きと夜中に動き出した電車と乗り継ぎ、友人宅に午前1時半に着きま した。私の携帯は電池が切れ、友人宅に着くまで「お母さん行方不明」と云 う事で家族に、とても心配をかけました。友人宅で津波の映像を初めて見て、 眠れなくなりました。息子一家が仙台に住んでいますので、皆無事と分った 後も電気もガスも無い、ガソリンも無い中で、食料品を送ったり、励ました 光は何びとにも平等に当たるのでしょうか?手助けが必要な時があります。 りと大変な日々でした。コーラスも計画停電で練習場が使えなかったり、余 震が毎日あり、とても歌どころではありませんでした。でも何とか練習をし て先日、5月1日にコンサートを無事終えました。6月にも7月にも本番が あります。この大震災を経験しまして今まで何事もなく過ごしていた普通の 事が、とても感謝するべき幸せな事だと思うようになりました。まだまだ被 災地の方々は大変でニュースを見る度、胸が痛みます。私には、わずかな義 援金を送る事と節電位しかできませんが、この胸の痛みと帰宅難民になった 事を忘れずに、毎日の生活を感謝しながら、コーラス生活を送っていこうと 思います。

#### 歌に添いて

士

#### 16期声楽 鈴木 秀代

京芸卒業後まもなく、私は愛知江南短期大学に就職し早39年が過ぎようとしています。幼児教育学科、教養学科、社会福祉学科を経験しそれぞれに必要とされるリトミックを国立音大で、音楽療法を岐阜県音楽療法研究所で学びながら音楽指導をして参りました。同時に近隣の病院や高齢者施設において音楽療法のボランティア活動も行なっています。

また短大の生涯学習講座「女声コーラス」の指導・指揮を受け持ち、毎年愛知県合唱連盟の合唱祭に出演して参りました。地区の中学校ではPTA合唱の指導もしています。これら地域の方々とふれあい繋がりを持ち、私自身豊かな生活を送れるのはやはり音楽の力と改めて思います。

一方、私は名古屋二期会においてオペラ「フィガロの結婚」(スザンナ、バルバリーナ)、「魔笛」(パパゲーナ)、「霊媒」(モニカ)、「ヘンゼルとグレーテル」(グレーテル)、「かぐや姫物語」(かぐや姫)、「アマールと夜の訪問者」(アマール)等々を歌わせていただきました。思えば、オペラデビューは芸大オペラ「バスティアンとバスティエンヌ」(バスティエンヌ)でした。厳しかった演出家の長沼広光先生、蔵田裕行先生にはオペラの魅力について多くのご指導をいただきました。オペラ出演は子育てが始まると次第に遠ざかりましたが、各種コンサートは続けることができました。とりわけ宗教曲は私の声質からも好きな分野でした。今はドイツリートを中心に歌っています。先日遅ればせながら(随分遅い!)オーストリアやドイツを巡り、その歴史と風土に触れ、街並み、食べ物、人々を垣間見て思うところ多大でした。同門(植田門下生)の三井ツヤ子さんのリサイタルは出切る限り聴かせていただき、毎回刺激を受けながら自分を叱咤激励しているところです。ドイツリートはとっても魅力的です。これからもずっと歌いつづけていきたいと思っています。

#### \* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

#### 真声会役員選挙管理委員 17期声楽 佐藤 敏子

私の学年は、短期大学で入学し、3年次に4年制へ編入した学年で京都芸 大の1期生になります。当時は、短大存続も危うい問題があったり、編入時 も全員が芸大に進む事もできなかったり、大変な時期でしたが、4年制にな り、オペラ演習では、東京から演出家の長沼廣光先生、蔵田裕行先生は、ウィー ンから帰国されたばかりで、この両先生に指導を受け、オペラ試演会をさせ ていただき、大変感激いたしました。その経験を卒業後も続けていこうと同 級生で京都オペラグループを立ち上げ、旗上げ公演は、京都会館で、「あまん」 じゃくとうりこ姫」「アメリア舞踊会へ行く」をいたしました。学校公演も年 間30校を実現した年もありました。また、22期生のオペラ「ジャンニ・スキッ キ」にも、お手伝いさせていただき、楽しく勉強させていただきました。卒 業後、関西二期会では、「フィガロの結婚」「カヴァレリア・ルスティカーナ」 「天守物語」「ばらの騎士」等、グランドオペラにも出演でき、オペラ三昧の 青春でした。舞台裏で序曲を聞くのも、すばらしいです。また、桂米團治さ ん、茂山千之丞先生との共演等、異文化の方々との舞台もよい経験でした。 最近は、女声合唱団六団体、男声合唱団の指導にあたり、大中恩先生、萩京 子さん(今年6月26日2時より、府民ホールアルティにて)の作品発表のコ ンサートを企画し、合唱団と共に活動しています。

私は京都市立芸大で勉強させていただいたのですから、最近では、京都市のデイサービスセンターで演奏させていただき、皆様に喜んでいただいています。

#### \* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

#### 29期クラリネット 松原 央樹

京芸を卒業と同時に、幸いにも大阪市音楽団に就職することが出来ました。 当時留学を考えていたのですが、そちらの夢は諦めることになりました。しかし、京芸には黒沼俊夫先生や岩崎勇先生をはじめとする室内楽の伝統があります。僕も吹奏楽を生業としながらも室内楽とは常に親密な関係でいたいと思っていました。 幸運なことに同級生に素晴らしい室内楽プレイヤーが何人もいたので機会には恵まれていました。1997年にはそんな仲間たちに声をかけて室内楽のグループを組み、今日に至っています。グループの名前には「アフター・アワーズ・セッション」というジャズ用語をもらってきました。「アフターアワーズ」つまりオケで弾いたり大学で教えたりという「仕事」が終わったあとに、気の合う仲間とやりたい曲を「セッション」しようということです。これまでに京芸の卒業生では23期の先輩から45期の後輩までいろんな世代がいっしょに演奏しています。

他の大学出の方ももちろん仲間にはいるのですが、やはり室内楽に対する 独特の嗅覚のようなものが合うのか、京芸の人とは一緒に音楽を作りやすい なと思います。

結婚してからはずっと芦屋市に住んでいますが、なんと大学時代の恩師の朝比奈千足先生のごく近所になりました。おかげで今は、師匠であるにもかかわらず「おいしい〇〇があるから」とか「年越しや!」などという理由でしょっちゅうお宅に呼んで頂き、楽しい時間を過ごさせて頂いています。

こうして振り返ってみると、演奏家同士というのは、いくつになっても損得を考えたりすることなく気持ちよくいろんな世代の人たちと仲良く出来て、いいものだなぁと思っています。

#### \* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

#### 32期ヴァイオリン 山本(竹村)美香

大学を卒業して早、20数年が経ってしまいました。卒業後は英国王立音楽院(Royal Academy Of Music)を経て、京都フィルハーモニー室内合奏団に入団いたしました。

まだまだ学生気分の抜けなかった私は、右も左もわからないまま、忙しく毎日毎日ステージをこなすうち、『音楽とは…?演奏することとは…?演奏家とは…?』などと、とても答えなど出せないような壁にぶつかりながら、悩みながら、のろのろと一歩ずつ進んでいたような気がします。

演奏することの難しさもたくさん経験しましたが、それ以上に音楽は、楽 しいこと、周りを幸せにできることなど、喜びもたくさん教えてもらいまし た。

若いころに悩んだ答えは今でも見つかりませんが、泣いたり笑ったりして 過ごした時間は、私の宝物になっています。

子育てのために十余年在籍した京フィルを退団して、すでに十年が経ちましたが、おかげさまで今でも多方面からお声をかけていただき、フリー奏者としていろんな所で演奏させていただいています。

そして、私のもとにバイオリンを抱えて通ってきてくれる多くの子供たち に、音楽の楽しさ、喜びなど、私の宝物をおすそわけしています。

今の私の夢は、おばあちゃんになってもバイオリンを弾いていること。幸 か不幸か、息子もバイオリニストの道を歩み始めています。

将来息子たちや生徒たちと一緒にコンサートが開けたら最高です。

#### \* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

32期声楽

林 香世

昨年12月、卒業以来はじめて京都コンサートホールでの定期演奏会を聴きに行きました。素晴らしいホールでのマーラー「復活」は感動的で、とても素敵な時間を過ごさせて頂きました。演奏会では、昨年度まで6年間勤めていた兵庫県立西宮高等学校音楽科(県西)で教えた生徒の姿をあちこちに観ることが出来ました。県西では多くが京芸への進学を希望しますが、現在、1回生から4回生まで35名ほどが京芸でお世話になっています。たくさんの教え子達が自分と同じ道に進んでいることに喜びを感じるとともに、これからも音楽を志す者の憧れの京芸であり続けてほしいと願っています。

たまたま採用試験に合格したから……と始めた教員生活も、早いもので22年目となりました。最初に勤めたのは養護学校。普通科高校を経て、県下唯一音楽科のある県立高校、県西に勤務。声楽レッスン、ソルフェージュ、合唱などの専門科目を教えることが出来たのは貴重な経験で、忙しい中にも普通高校では決して味わうことのできない充実感がありました。県西で教えた多くの優秀な卒業生のこれからの活躍は、非常に楽しみです。そして今年度、4校目の異動で母校へ帰ることとなり、現在、私を声楽の道へ導いた合唱部の顧問をしています。私が高校生の頃とは違い、今は少人数の女声合唱ですが、60年以上の伝統ある合唱部の指導には大きな責任を感じています。指揮者経験の未熟な私は不安でいっぱいですが、夏のコンクールに向けて、いいハーモニーが響くようにと今、部員と一緒に頑張っているところです。

次回、7月の定期演奏会のピアノ協奏曲のソリスト、尹紗梨さんは、私が 県西で3年間担任したクラスの生徒です。オーケストラでも多くの教え子が 活躍すると聞いています。7月の演奏会も、今からとても楽しみです。

 $\pm$ 

\* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

#### 35期テューバ 兵頭 正文

私は大学卒業の翌年から、四国の某テーマパークのバンドでテューバ奏者として9年半勤務しました。また、その傍ら、高松市立第一高校音楽科で非常勤講師として7年間、金管楽器のレッスンを担当しました。

テーマパークでの演奏は主にラテン系の曲で、奏法の違い、奏者と観客と の距離の近さ等いろいろとまどうこともありました。

また、演奏曲の編曲、新しいショーの企画に関わったり、テレビ、ラジオの出演など、いろいろな仕事をしました。

しかし、バブルの崩壊の影響でパークは休園し失業しました。

その後、京都でビデオ制作会社に入り、カメラマンとして働き始めました。 最初にいた会社は、今でいうブラック会社でしたので仕事を一通り覚えて から辞めて、同業の他社に勤務した後フリーとなり、現在は演奏会を中心に 舞台もの全般の撮影をしています。いろいろな所で、先輩、後輩、同期の活 躍を収録しています。

音楽の活動としては、縁あって青山政雄先生に3年程、指揮法のレッスンをしていただき、2007年に、同期の古味さん主宰のポリヒムニアアンサンブルの演奏会を指揮しました。

また、細々と吹奏楽の指導をしており、1年に1度演奏会で、ソロを披露 しております。

ところで、現在映像制作をやっている立場から、映像を使ったプローモーションの方法、幼稚園の運動会で自分の子供を上手に撮影する方法(笑)など、いろいろアイデアを持っていますので、お気軽にご相談ください。

\* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

#### 51期声楽 田中 千佳子

学部から大学院修了まで、浪人時期も含め7年間を沓掛村で過ごしました。 音楽棟に足を踏み入れると、天井から打研のリズムが聞こえてくる、廊下の 先から金管の音が響いてくる。先に進むにつれ様々な楽器の音と声があふれ る空間は、在学中も現在訪れても相変わらず、いつも私はニンマリしてしま います。

在学中、とりわけ密度の濃かったのは院の2年間です。日替わりでフランス歌曲、ドイツ歌曲、宗教歌曲、そしてオペラにレッスン、どっぷりと歌三昧の日々はめまぐるしく過ぎてゆき、しかしその中で確かな充実感を得ていました。同期の仲間とは、授業後もほぼ毎日9時頃まで学内で音楽や様々な話をし、それでも飽き足らず、皆で御飯を食べに行ったことをよく覚えています。当時もそうでしたが、同期の活躍を耳にするのは大変嬉しく、また沸々と自分の気持ちも向上し、明日への活力となります。特別な仲間です。また授業では、門下の枠を超えたくさんの先生方に御指導いただきました。発声について悩む時期にいた私は、先生方が様々なアプローチを教えてくださるのに(今思い返すと、なんて贅沢なことなのでしょう!)頭をパンクさせておりましたが、ある時、求められる絶対的な声は一緒なのだと気付かされ、それからはポロポロと目から鱗が落ちていきました。御指導いただき、経験したことの全てが糧になっています。

現在私は、びわ湖ホール声楽アンサンブルに所属し、3年目を迎えています。オペラや多くの演奏会の舞台に立つ機会があり、がっつりと歌三昧の日々を過ごしていられることは、本当に幸せなことだと思います。音楽を発進し伝えていく者として、努力し、前進し続けてゆきたいと思います。7月29日(金)にはびわ湖ホールのロビーで30分のソロコンサートを予定しています。よく響く大きな空間の中でどんな音楽をつくれるのか、私自身も楽しみながら取り組みたいと思っています。

\* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

#### 54期ピアノ 今井 彩香

大学を卒業して今年で3年になります。京芸で過ごした4年間は私にとってとても特別な時間でした。私は普通高校に通っていたため、毎日音楽に囲まれての生活に初めは戸惑いました。私は、ここには向いていなかったのでは…?などとも思いました。しかし、尊敬できる先生方・先輩方のおかげであらためて音楽の素晴らしさを実感し、ああやっぱりこの学校に入れて良かったと思うようになりました。なかでも、1回生の後期からお世話になっ

た松田康子先生との出会いは私に大きな影響を与えました。入学後に就いた 先生が京芸をお辞めになることとなり、入学してわずか半年で先生が変わる ことになりました。それは私にとって不安なことでしたが、後任の松田先生 は音楽的にはもちろん、人間として、女性としても尊敬できる方で本当に良 い先生に巡り合えたと思っています。先生は、基礎すらできていない私に根 気強く音楽というものを教えて下さいました。自分が演奏するときには、一 生懸命音楽をしてるつもりでも、技術的な部分や表面的な部分しか見れなく なったりするのですが、先生の演奏に触れると一つ一つの曲がまるで生きて いるように意志を持って浮かび上がってきます。音楽を奏でるということは こういうことなのだと強く感じるのです。先生のように、音楽を奏でること は一生無理かもしれませんが、先生の教えを大切にずっと背中を追い続けて いきたいと思います。

私は、今年の1月に初めてリサイタルをさせて頂きました。大きなホールで一人で演奏会を作るということに大きなプレッシャーと不安を感じましたが、何とか乗り越えられたのは、京芸で過ごした4年間のおかげだと思います。当時はただ一つ一つの課題をクリアしていくだけでいっぱいでしたが、ちゃんと経験として身に付いていたんだなあ、とあらためて感じました。

これからも、京芸での時間を糧として、音楽の道を進んでいきたいです。

#### 

#### 55期ピアノ 佐渡 春菜

私は、5月に叔父(佐渡裕(29期FI)指揮者)の演奏会を聴く為にベルリンへ祖父と祖母を連れて行きました。行く直前に叔父から「ベルリンは夏やで。暑いしな~。」とメールがきていたので、半袖、短パン、素足でオマケに麦わら帽子まで被ってルンルンでベルリンの地に降り立ったのですが、その日は気温6度。ベルリンの人達はダウンジャケットにブーツで完全防備。や…やられた~。

そんなこんなで迎えた演奏会の日。家族みんなで緊張して聴きました。ま ず武満徹さんの曲でした。始めの音から最後の音が鳴り止むまで息をするの もためらうほどの緊張感と静寂でした。終わった瞬間みんなで「ハ~…」そ して休憩になりました。すると祖母が、お手洗いに行きたいと言いました。 が、フィルハーモニーのホールはとても構造が複雑な為、足の悪い祖母には 行きにくかったのです。すると叔父の事務所の方が、「楽屋のトイレが一番近 いのでどうぞ。」と言ってくださったのでまだ演奏会は終わっていないけれど も舞台から楽屋へ向かいました。私は「本番の途中で集中の邪魔になるんと ちゃうんかな!?」と思いながらも祖母を連れて楽屋へ行きました。すると やはり楽屋ではものすごい集中力でショスタコの楽譜を眺めている叔父がい て、「誰も声がかけられません」、といった空気がただよっていました。「絶対 に邪魔しないように通らなければ!」と思ったその時!「ゆうちゃん、よかっ たで~。」……え!?おばぁちゃん普通に喋っちゃってる~ッ!!するとおじ ちゃんは急にいつもの顔に戻って「ちょっと~まだ終わってへんで!」と。 私は慌てて祖母をトイレに押し込みました。用を済ませて楽屋を後にして歩 き出すと祖母が、「なんやひんそげな楽屋やな~。」……え!?「おばあちゃ ん!あれはカラヤンの使ってた楽屋なんやから一応すごいんやで!」と私が 言うと、祖母は「そうか~。そやけどトイレも普通やったで。」と。そらトイ レなんかどこも同じやろ~と思いながらも席に着き、再び演奏が始まりまし た。後に叔父に聞いた話によると、この楽屋の奥にカラヤンの使っていた楽 屋が別にあったそうです。そうとも知らずに、私と祖父は楽屋でカラヤンの マネをしながら写真撮影をして大喜びしていたのは言うまでもありませんが …。こんな愉快で関西人丸出しな祖父と祖母ですが、最終日のショスタコが 終わった後は目に涙をいっぱい浮かべて喜んでいました。無理してでも二人 をベルリンに連れて来てあげる事ができて本当によかったと心から思いまし た。最終日はスタンディングオベーションで私も母も祖父もうれしくてピョ ンピョン飛び跳ねていましたが、祖母だけは絶対に立ちませんでした。祖母 は笑顔で、「身内が一番になって喜んだらアカン。」と言いながら周りの観客 の方をうれしそうに眺めていました。すごくその言葉が私の記憶に鮮明に 残っています。やはりおばあちゃんは偉大な母親だ!私のおばあちゃんは最 高だ!と心から思えた、そんな旅でした。

余談になりますが、その後アイスランドの火山が噴火し、ベルリン空港が 閉鎖され、叔父は超強運でエジンバラに行けたのに、私達が日本に帰れなく なってしまったのは言うまでもありません。

今号の会員だよりには15名の会員の方より寄稿いただきました。 この場をお借りして御礼申し上げます。

# 真声会 各支部活動報告

**関東支部** いつものように春を迎えてつつがなく新年度に入るもの と思っていました。ところが、3・11大地震発生と津波の

到来、そして福島原発が止まりません!当初は東京近辺でも大きな余震が続き、計画停電のため都内外の交通網も日常生活も混乱状態。放射能という見えない脅威と不安は今もぬぐえません。そんな中、4月12日(火)寄り添い合うように集まって第16回総会を開催しました。冒頭、島津支部長の「こんな時こそ、音楽の力を信じつつ、ますますお互いのつながりや共に活動することを大切に……」という言葉に始まり議事を進めました。総会終了後、銀座キハチのランチをいただきながら談笑している間にもまたもや余震に見舞われ、ひたすら不安の共感と励まし合いに終始しました。同窓会の集まりが、顔をあわせてほっとできる和やかな場であることに改めて感謝したいと思います。

5月1日、会報Harmony第15号を発行。阪神・淡路大震災被災の経験から、今回精一杯の祈りを込めて演奏し、インターネットラジオで被災地の皆さんに向けた応援メッセージを募集配信しているというジャズバイオリニストmaiko(平岡舞子さん 48期Vn)、また、結婚出産を経て7年ぶりのソロ演奏復活に胸を熱くしたという、定演ニューフェイスの小屋聖子さん(35期Pf)に投稿していただきました。特集として、昨年秋の定演を最後に活動休止となった女声合唱団トレ・カンパーネの15年の思い出の軌跡を、メンバーの皆さんの声を集めて振り返りました。トレカンパーネの歴史は真声会関東支部の歴史と重なります。取材編集の過程で、発足当時のご苦労や熱意がとてもよく伝わってまいりました。

寂しい思いはありますが、メンバーの皆さんの歌に駆ける情熱は健在です し、今も会をサポートしてくださっています。

ピアノ科有志によるピアノアンサンブルdouxの5回目のコンサートが6月4日(土)・東京スタインウェイ松尾ホールで開催され、9月23日(金・祝)には関東支部第16回定期演奏会が新宿文化センター・小ホールにて開かれる予定です。どんな状況の中でも常に前を向いて進んでまいりたいと思います。 副支部長 曽我尚江(27期Pf)

#### 滋賀支部

1989年2月に発足した滋賀支部も23年目になりました。 支部会員は180名を超え、今年も以下4名の新会員を迎えま

した。

士

\*西薗 千智さん(ピアノ)

\*小谷 悠さん(クラリネット)

\*川端 賢一さん(クラリネット)

\*下林 一也さん(声楽)

今年度支部活動としては、毎年恒例の支部主催演奏会「湖(うみ)のしらべ」 計決算会議2回、大阪支部後援名義使用承認公演5件。 を開催しています。今年度も11月3日(木・祝)に「しがぎんホール」で開催 これからの活動は、ブリリアント・コンサート開催について、主担の大富 予定です。去年はマリンバ独奏、歌曲独唱、ピアノ連弾、ヴァイオリン独奏、 栄里子(28期Pf)さんから、今年度は行わず、来年、総会と並行で開催する ことを模索しようと呼びかけられました。また、東日本大震災チャリティー た。ことしも多彩な形態の楽しい演奏会を開きたいと準備中です。 コンサート~七夕に祈りをこめて~の実施について、柴田千恵子(18期声)

2011年度支部総会を去る5月15日、瀬田川畔のレストラン「イージー・オール」で行ないました。16期から48期の11名の出席者でしたが、総会後の懇談会では、京響のティンパニストだった奥村隆雄さんの興味深くまた楽しいお話を聞き大いに盛り上がりました。

大震災の傷跡はまだまだ癒えないと思います。滋賀県は直接被害は受けませんでしたが、二次的な影響は出ていると思います。音楽の分野でも滋賀支部が何かお役に立てればと思っています。 副支部長 井手悟 (20期Pf)

京都支部 今年度より活動年度変更に伴い、昨年8月~今年3月までの2010年度は8ヶ月間という短い活動期間になりましたが、4月から2011年度に入り、5月15日の葵まつりの日に、ウイズユーに於きまして第22回総会を開催しました。

総会終了後、昨年に引き続き、真声会会長の大村益雄氏に今回も再度ゲスト講演をお願いして、今日まで長年に亘る海外旅行の豊富な経験を通して、「私が見てきた世界の音楽教育について」と題して、各国の音楽教育についての貴重なお話を聞かせて頂きました。その後の懇親会は今年も和やかな暖かい雰囲気の中で、実り多いひとときを過ごす事が出来ました。年に1度の総会・懇親会が、テーブルを囲んで卒業年度の壁をなくして、お互いに楽しく歓談出来ます素晴しい機会である事を大変うれしく思います。

今年度から総会開催時期の変更と共に、毎年5月に開催していましたプロムナードコンサートを、今年は8月28日(日)午後2時から府民ホールアルティで行います。出演は、細辻秀美(40期Vc)&木下亜子(40期Pf)/佐藤紀子(8期Vn)&丸尾美紀(賛助Pf)/福井真裕子(34期Pf)/藤美千代(43期声)&小上多衣子(賛助Pf)/江口純子(54期Vn)渡辺明日香(54期Vn)岡本名那子(52期Va)岡田真理子(53期Va)江口陽子(51期Vc)小棚木優(56期Vc)さんで、チェロ、声楽、ピアノ、弦楽六重奏のコンサートを企画しています。是非多くの皆様にご来聴頂けますようお待ち致しております。

今年も多くの新入会員を迎えました。7月にはまた京都支部報を発行し、350名の会員の皆様と共に、支部報とプロムナード・コンサートを通して会員相互の交流の場を拡げ、更に活発な支部活動を進めて行くことが出来ますよう願っています。 支部長 山田晏子 (10期声)

#### 大阪支部

http://senri-music.com/shinseikai-osaka/

2011年度総会は、去る5月22日(日)、天満橋の大阪キャッスルホテル3階にある中國料理「錦城閣」にて開かれました。夏の天神祭りでは、絢爛豪華な船渡御が眼下に見下ろせるという川面を眺めながら、いつものように和やかに進められました。出席は、1期から51期の18名。11時開始、15時終了でした。

今年は、支部長・大村益雄(1期作曲)さんに、記念講演を一時間お願いしました。題して、「西洋文明のルーツと東洋の文化について、その社会性の一端を考える」。ギリシャ、エジプト、中国、チベット、インドと、実際に訪ね歩かれた国・地域であり、豊富な見聞によって他との比較や違いを解説してください



ました。しかも、自身で撮影してこられた(撮影不可のところのもあり)、数多くの写真を拝見しながらの聴講で、よくわかりました。その土地の文化・ 文明は、宗教とも密接に関係し、またその時の為政者によって大きな影響を 受けている、ということでした。次の機会が楽しみです。

総会議事は、大村支部長の挨拶のあと、私、金森が一年のまとめを報告、 続いて、飯田真基(17期Vn)さんが会計報告、竹内惠子(5期Vn)さんが会 計監査報告を行い、全て承認されました。

10年度の活動の中心は、9月に、大丸心斎橋劇場で開催の「ブリリアント・コンサート2010~和と洋の架け橋~」でした。同時代のラヴェルと貴志康一の作品を中心にプログラミングされ、一定の成果を上げることができました。ほか、支部報発行3回、世話役会4回、コンサート担当部会2回、事務局会計決算会議2回、大阪支部後援名義使用承認公演5件。

これからの活動は、ブリリアント・コンサート開催について、主担の大富 栄里子(28期Pf)さんから、今年度は行わず、来年、総会と並行で開催する ことを模索しようと呼びかけられました。また、東日本大震災チャリティー コンサート〜七夕に祈りをこめて〜の実施について、柴田千恵子(18期声) さんから、交野市音楽協会からの呼びかけに応えて、真声会大阪支部と共催 で、被災者にエールを送るコンサートを開催する旨、報告があり了承されま した。既に、同窓生10名の出演が決まっています。 7月3日(日)14:00/星の 里いわふねホール(京阪私市駅歩4分)。入場料(1,000円)のすべてと、当 日の募金が、義援金として被災地に送られます。乞う来聴。問い合わせは、 072-893-1940(柴田)へ。

あとは、恒例の懇親会で、美味しい中国料理に舌鼓。話も弾んで終わって みれば2時間半の会食でした。

大阪支部に関するお問い合わせ・入会は、事務局545-0004大阪市阿倍野区 文の里4の12の25樋口博行方、電話とファクス06-6624-3425まで。

副支部長·広報担当 金森重裕(6期CI)



**奈良支部** 昨年、12月10日(金)に秋篠音楽堂にて第13回定期演奏会を開催し、お陰さまで出演者、スタッフ一同一丸となりとても充実したコンサートにすることが出来ました。その際、遠方にもかかわらず、本部の小川隆宏氏、中部支部長の中島百合子氏、京都支部長の山田晏子氏、大阪副支部長の金森重裕氏がご来聴くださったうえ、温かい励ましの言葉をおかけいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

5月15日付で「真声会NARA通信」第63号を発行いたしました。 広報編集 担当の山口暁子さん(42期Pf)の鋭意作成により、読みやすく盛りだくさん の内容の支部報を会員に届けることができました。

6月11日(土)午後6時から奈良支部総会と懇親会を開催します。会場は昨年と同じ、"スタジオかまぼこ"(39期打楽器の前川典子さんのスタジオ)です。懇親会では豪華でおいしいケータリング料理を気兼ねなくいただきながら親睦を深めることができると思います。総会と併せて多数の参加が期待されます。

また、8月には、"音出し会"を開催する予定です。

 $\pm$ 

2012年2月24日(金)に第14回定期演奏会を開催予定です。今回はピアノデュオ(2台)を含め、室内楽等幅広いジャンルになるよう出演希望を募っています。なお、奈良支部会員以外の方と交流できればうれしく存じます。 定期演奏会で協演してもよいとお考えの方は、奈良支部 事務局(IL& fax0742-44-7650 江口方、shinseikai\_nara\_shibu\_info@yahoo.co.jp)までご連絡ください。 支部長 髙橋せつ子(16期打)

中部支部 この度の大震災にあたりまして影響が及ばれた会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。心痛む日々が続いて

おりますが、一日も早く平穏な日常が戻りますことを祈念して止みません。

昨年4月より発足しました当支部は、多くの会員の皆様にご協力いただき、現在180名の会員構成のもと、無事2年目を迎えることができました。新年度といえども不安な状況下で誰もが落ち着いて桜花を楽しむことができなかったことと思います。そのような中でも、普段と変わらず、積極的な演奏活動に取り組んでおられる会員の情報に出あうたびに大変励まされています。ドイツ滞在中の平野佳恵(51期声楽)会員より、震災直後、ハンブルグでチャリティーコンサートに参加し、大きな反響をいただいたとのあたたかい感動メールをいただきました。いち早く行動に移され、国境を越えた力強い支援の輪での活躍を大変頼もしく誇りに思いました。

6月19日(日)14時より名古屋市中区「長円寺会館」にての「2011年度中部支部総会・懇親会」開催に向けて、一人でも多くのご参加を願いつつ、目下準備をすすめているところです。総会終了後の懇親会も大変楽しみです。 気軽に交流の輪に入っていただける親しみある支部づくりを信条に一年一年積み重ねていきたいと思っています。 支部長 中島百合子(19期作)

# 京芸だより

# 退任のごあいさつ

神谷 郁代 (教授)

感謝の思いを込めて

菅 英三子(准教授)

京都芸大には3月で退官するまで12年間勤めました。それ以前の私はピアニストとして一人で活動していましたので、大学という組織に所属するのも、若い学生のみなさんに何年間もレッスンをしていくのも、初めての経験でした。京都という土地で暮らすのも初めてだったので、最初のころは思いもかけないことの連続でしたし、毎週のように新幹線で東京と京都を往復するのも大変でしたが、そのうちペースがつかめてくると、おいしい店も発見して京都生活をエンジョイできるようにもなりました。

みなさんにレッスンをしていて、最も考えさせられたのは、一人一人の違った個性にどう対応したら良いのかということです。しばらく試行錯誤があったのですが、結局行き着いたのは基礎練習でした。個性はリズムやバランスそしてテンポなどで人と違ったことをすれば表現できるというものではありません。抑制された表現の中にも浮かび上がって来るのが個性です。美しい音色や自由な表現力が身について初めて、その人の本当の個性が現われてくるのです。基礎練習はたいへんですが、ピアニストとしての個性を磨くために、これからもずっと大切にしてほしいと思っています。

若くて元気なみなさんと過ごせたのは、とても良い思い出になりました。 ピアノフェスティバルの準備に一生懸命取り組んでいるみなさんの姿を見た り、折にふれて行われた食事会でお話をしたのが、たいへん楽しかったです。 卒業後も近況などを時々知らせていただけたら嬉しいです。私の住まいは東 京ですが、こちらに来ることがあれば是非声をかけてください。 京都市立芸術大学を退職させていただきましてから、早くも約二カ月が経 とうとしております。愛する母校ではすばらしい先生方、職員の方々に囲ま れ、本当に恵まれた日々を過ごさせていただきました。学生の皆さんお一人 お一人としっかり向き合い、一緒に歩むことを目標に夢中で過ごした十年間 でした。いろいろと至らなかったことも思いだされますが、皆様に育ててい ただきました幸せを噛みしめ、改めて心から感謝いたしております。

思いがけず東京藝術大学での生活がスタートいたしました。新しい体験の連続で、施設などにつきましても一つずつ覚えていかなくてはなりませんが、周りの方々に助けていただきながら楽しく過ごしております。

三月に起きました東日本大震災の際には、先生方、職員の方々、学生の皆さんからたくさんのお励ましをいただきました。温かなお心遣いに深く感謝いたしております。沿岸地域は復旧もなかなか進まず、その被害の大きさに胸が痛むばかりです。けれども被災された方々のお話やお姿に触れ、そして日本中から、また世界中から送られ、寄せられる温かい思いに触れて、人と人との繋がりの強さ、美しさ、深さを改めて思い、本当にたくさんの感動をいただいております。

私にとりまして、生きるということは常に音楽と共にあります。音楽を通し、出会いの機会を与えられましたすべての方々に感謝しつつ、たとえどんなに小さなことであっても私にできることを心を込めて精一杯していきたい、そう願う毎日です。

切り取り線

# 京都市立芸術大学音楽学部第138回定期演奏会

#### 音楽学部同窓会真声会 会員券

2011年7月3日(日) 14時開演(13時開場) 京都コンサートホール大ホール



りり取り続

# obstate

# 種田直之先生を偲んで



2月3日に亡くなられた種田直之先生を偲び、追悼文が寄せられました。ご冥福をお祈り申し上げます。

#### **上田 明美**(44期ピアノ)

 $\pm$ 

私が種田先生に初めてお目にかかったのは、芸大の入試を半年後に控えた 高校3年生の時でした。初めて先生の前で演奏をしたとき、一言「あなたの 高校生活は間違っていた」と人格を全否定されるようなことを言われ、ひど く落ち込んだものです。しかし、先生の音楽に対する情熱、ひたむきさを思えば、それは当然言われてしかるべき事でした。

先生の芸大での在職期間は約5年ほどだったかと記憶していますが、私は 在学中の4年間全てを種田先生に教わることのできた数少ない門下生でした。 寒い冬の時期、研究室で電気ストーブを足元に、さらに毛布を体に巻きつけ ながら遅くまでレッスンしてくださった事を思い出します。コンクールや本 番を直前に控えると、それが6時間以上に及んだこともあり、年齢的にずっ と若いはずの私が、悲鳴を上げたくなるほどの熱の入れようでした。

ドイツに留学するきっかけを作ってくださったのも、種田先生です。目先の不安にとらわれすぎて長期間外国で勉強することに消極的だった私に、5年先、10年先のことを見据えて考えなければいけないと背中を後押ししていただきました。お陰で、充実した留学生活を送ることができ、このことは先生に感謝してもしきれません。

亡くなられる2週間ほど前にも、とある講習会のご案内とお手紙を頂きました。すぐにお返事の手紙を差し上げたのですが、その直後に突然の訃報…信じられませんでした。これからも色々と教えていただきたいことがあっただけに、残念で仕方がありません。でも、音楽に全身全霊を捧げた先生を裏切らないよう、私なりに音楽と真摯に向き合っていこうと思います。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

#### **松田 みゆき**(46期ピアノ)

私の人生を変えて下さった恩師、ピアニストとしても教育者としても偉大 で父の様な存在だった種田直之先生が逝ってしまわれたのは、あまりに突然 でした。未だに現実と思いたくない時もあり、本番で先生の声や歌が聴こえた時もありますが、改めてその存在の大きさを感じ、自分の中に先生がいつもいて下さることを幸せに宝物の様に感じています。

私は京都芸大時代最後の門下生として、二年間教えて頂きました。先生にお出会い出来ていなければ今の自分はないと言い切れる位、影響を受け、まだ音楽の素晴らしさに目覚めていなかった一、二回生の頃から、レッスン内容が本物で人格者だと思い、先生のことを知れば知る程、凄い方だと尊敬していました。

私の様に無知でパッとしない生徒にも、全力のレッスンをして下さり、一人一人の人間を大事にされる誠実さが、先生の音楽への向き合い方そのものでした。

技術的に難しい箇所も先生の手にかかると解決する、そんな根本的なピアノや音楽の事を教わるだけでなく、先生は一度演奏を聴くだけで私の心境が分かり、問題や課題を的確に示し、その時々にハッとする言葉を沢山、雑談からも対話からも頂きました。

最近印象に残っている言葉「あなたは今後どうなって行きたいのか?頼まれ仕事や伴奏だけに追われていたら、一生はすぐですよ」が身に沁みます。 卒業後も約十年間、最初の二、三年は月一回関西に来て下さっていて、最近でも時々伺っていて、昨年末にも、先生が退官コンサートで演奏された曲を見ていただいた矢先でした。

本当にいつもエネルギッシュで、生涯現役で、生徒を信じ希望を与えるレッスンをして下さり、やりたいことやらなければならないことも色々おありでした。私はそんな先生の許で、勉強し吸収し演奏につなげて行きたいと思いながら、よく脇道にそれ先生孝行出来ていなかったかもしれません。ですが、心強くいられる様導いて下さった先生に胸を張れる様、一歩でも近づける様、頑張って成長して行きます。

沢山の感謝の気持ちと共に、先生のご冥福を心よりお祈り致します。

#### 

#### ~定期演奏会をぜひ聴きにいらしてください~

#### 京都市立芸術大学音楽学部 第138回定期演奏会

来たる7月3日(日)午後2時、響/都プロジェクト京芸ルネッサンス2011コンサートシリーズ京都市立芸術大学音楽学部第138回定期演奏会が京都コンサートホール大ホールにて行われます。

真声会会員の皆様は無料でご入場いただけます。会場 受付にて卒業・修了期、専攻、お名前をお知らせくださ い。また、会報内に印刷されてある真声会会員券をぜひ ご利用ください。この会員券は、会員様ご家族、友人知 人のご利用が可能です。皆様のご来場を心よりお待ちい たしております。 日時:2011年7月3日(日)14時開演(13時開場)

会場:京都コンサートホール(大ホール)

京都市左京区下鴨半木長1-26(地下鉄烏丸線「北山駅」下車1番出口徒歩5分)

曲目:シベリウス:交響曲第2番ハ短調「復活」 ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 ベートーヴェン:交響曲第7番

出演:指揮 増井信貴(本学教授)

ピアノ独奏 尹紗梨(ピアノ専攻4回生) 管弦楽 京都市立芸術大学音楽学部管弦楽団

入場料:1200円(全席自由)

チケット販売:京都コンサートホール 075-711-3090

主催:京都市立芸術大学

お問合せ先:京都市立芸術大学企画広報課 075-334-2204

#### 真声会からのお知らせ

#### 同窓会事務室が月・水・金の週3日稼働しています!

音楽学部同窓会事務室は現在、月・水・金の週3日稼働しています。 美術学部と同室で、美術学部・音楽学部同窓会事務室として同窓会業務 を行っております。皆様、ぜひお気軽に専用電話番号にご連絡ください。 本部役員または担当者がお問合せに直接お答えします。

開室日:毎週月曜日・水曜日・金曜日(10:00~15:00)

\*年末年始、お盆、祝日及び学内立ち入り禁止期間(入試等)は休室します。

#### 専用電話番号 080-6185-4494

開室時間外にお電話を頂いた場合、留守番電話にお名前とご連絡先を 録音して頂ければ、開室時間中に同窓会事務室より連絡いたします。

#### 名簿について

住所変更等、随時受け付けております。真声会本部までご連絡ください。

# 真声会会員のコンク―ル等受賞者

 $\pm$ 

○ショパン国際ピアノコンクール in ASIA (平成21年1月13日(火)) 全国大会銅賞 アジア大会努力賞

学部2回生 ピアノ専攻 井原寿美緒

○第22回和歌山音楽コンクール(平成21年8月27日(木) 和歌山市民会館小ホール)大学生等の部門 第3位 学部2回生 ピアノ専攻 井原寿美緒

○第9回ノーヴィ国際音楽コンクール (平成21年11月3日(火)) 一般部門 奨励賞

学部1回生 ピアノ専攻 山下諒

○ショパン国際ピアノコンクール in ASIA (平成21年1月13日(火)) アジア大会金賞(最高位)

学部1回生 ピアノ専攻 山下諒

○滋賀県音楽振興会音楽家育成事業平成22年度第9回滋賀県新人演奏会(平成22年6月20日(日) びわ湖ホール小ホール) 管弦打楽器部門優秀賞および全部門(ピアノ、声楽、管打)最優秀賞受賞

2009年度学部卒業 管打楽専攻 奥村夏海(55期)

- ○**第23回和歌山音楽コンクール**(平成22年8月25日(水)和歌山市民会館小ホール)**声楽部門 一般の部 奨励賞** 2007年度学部卒業 声楽専攻 **津田祐理子**(53期)
- ○**第23回和歌山音楽コンクール**(平成22年8月25日(水)和歌山市民会館小ホール)**声楽部門 大学生等の部門 第2位(1位なし)** 学部4回生 声楽専攻 **下林一也**(56期)
- ○日本演奏家コンクール(平成22年8月16日(月))入選

学部3回生 ピアノ専攻 井原寿美緒

○京都ピアノコンクール(平成22年8月20日(金))金賞及び京都新聞社賞

学部4回生 ピアノ専攻 市川未来

- ○**第4回横浜国際音楽コンクール**(平成22年8月26日(木)横浜みなとみらいホール小ホール)**声楽部門 大学の部 優秀賞** 学部3回生 声楽専攻 **井上詩紀**
- ○**第21回堺ピアノコンクール**(平成22年9月4日(土) 栂文化会館)**大学生・一般の部 銀賞**

学部1回生 ピアノ専攻 澤田奈央子

○大阪国際コンクール(平成22年10月5日(火)兵庫県立芸術文化センター神戸女学院ホール)

アーリーミュージック部門第2位(チェンバロ最高位)

学部3回生 林伊織

- **○第11回大阪国際音楽コンクール**(平成22年10月10日(日) ムラマツリサイタルホール)**Age-U オペラコース エスポアール賞** 学部3回生 声楽専攻 **井上詩紀**
- **○第16回フッペル鳥栖ピアノコンクール**(平成22年10月11日(月·祝)**第1位**

2009年度学部卒業 ピアノ専攻 加門(橋上)祐香里

- ○**第64回全日本学生音楽コンクール**(平成22年10月25日(月) ザ・フェニックスホール)**大阪大会本選 声楽部門 大学・一般の部 第2位** 大学院修士2回生 声楽専攻 **向井悠**(54期)
- ○**第64回全日本学生音楽コンクール**(平成22年10月25日(月) ザ・フェニックスホール)**大阪大会本選 声楽部門 大学・一般の部 第3位** 学部4回生 声楽専攻 **下林一也**(56期)
- ○**第64回全日本学生音楽コンクール**(平成22年10月25日(月) ザ・フェニックスホール)**大阪大会本選 声楽部門 大学・一般の部 第3位** 学部3回生 声楽専攻 **花房英里子**
- ○**第35回滋賀県文化賞**(贈呈式平成22年11月7日(月)滋賀県公館)**芸術文化部門 文化奨励賞(音楽)** 学部教員 作曲専攻 **中村典子**(講師・32期)
- ○**2010年度青山音楽賞**(平成22年度11月19日(金)) **新人賞**

大学院修士3回生 川原慎太郎(52期)

○**2010年度青山音楽賞**(平成22年11月21日(日))**受賞** 

1999年度学部卒業 声楽専攻 松岡万希(45期)

- **○第2回徳島音楽コンクール**(平成22年11月27日(土))**大学・一般の部 金賞** 入賞記念ガラコンサートにて**グランプリ受賞** 学部2回生 ピアノ専攻 **山下諒**
- ○**第20回日本クラッシック音楽コンクール**(平成22年12月6日(月)**全国大会 弦楽器部門 第4位** 学部4回生 弦楽専攻 **武藤有**
- ○**第20回日本クラッシック音楽コンクール**(平成22年12月20日(月) **全国大会 弦楽器部門 第4位** 学部3回生 ピアノ専攻 **井原寿美緒**
- **○第6回大阪ピアノコンクール**(平成22年12月26日(日)クレオ大阪西ホール)**第3位**

大学院修士2回生 器楽専攻 大谷洋子

- ○第16回KOBE国際コンクール(平成23年1月8日(土)ハーバーホール)優秀賞、神戸市教育委員会賞 大学院修士2回生 器楽専攻 大谷洋子
- ○第2回東京ピアノコンクール (平成23年1月8日(土)) **大学部門 第2位**

学部2回生 ピアノ専攻 佐竹美奈子

- ○第23回ミュージック・ペンクラブ音楽賞(贈呈式平成23年3月29日(火)) クラシック部門 著作出版「20世紀を語る音楽/アレックス・ロス著」全2巻 翻訳 学部教員 柿沼敏江(教授)
- ○**第20回ABC新人コンサートオーディション本選**(平成23年4月7日(木) イシハラホール)**声楽部門 入賞** 1999年度学部卒業 声楽専攻 **松岡万希**(45期)
- ○**第20回ABC新人コンサートオーディション本選**(平成23年4月7日(木) イシハラホール)**声楽部門 入賞** 2001年度学部卒業 声楽専攻 **清水徹太郎**(47期)
- ○万里の長城杯国際音楽コンクール(平成23年3月20日(日) ピッコロシアター)打楽器部門 大学の部 第2位(1位なし) 学部3回生 管打楽専攻 **岡村彩実**

# 真声会後援の演奏会

♪ベートーヴェン~多川響子ピアノソナタ完全全曲リサイタルvol.6

日時:2010年12月12日(日)15:00 会場:ザ・フェニックスホール 出演:多川響子(44期Pf) 曲目:ベートーヴェン

士

ピアノソナタ第13番op.27-1 ピアノソナタ第25番op.79 ピアノソナタ第7番op.7 ピアノソナタ第30番op.109

♪クラムジカ第4回公演 点綴のまなざしー協奏のリージョナリズムー

日時:2010年12月26日(日)15:00 会場:京都府民ホール アルティ

出演:菊本和昭(48期Tr)、大西泰徳(49期CI)、富永玲(50期Tb)、江戸聖一 郎(49期FI)、川端賢一(4回生)、武内佐和子(52期Tb)、池田千紗 (53紀Tb)、上中あさみ(38期打)、菊本歩(49期打)、美堂舞(50期 声)、木須すみれ(51期Vn)、澤田知栄子(51期Vn)、平野慈子(48期 Vn)、中村公俊(51期Vn)、佐本博子(4回生)、粟辻聡(4回生)、山 内瑶子(3回生)、赤松美幸(4回生)、小林桃子(4回生)、小川彩音 (54期指揮)、増田真結(博2回生)、清水慶彦(44期作曲)、中村典子 (32期作曲)

曲目:中村典子 打楽器と十七絃箏のための二重協奏的交響曲《郷》(初演) 松村禎三 弦楽のための《プネウマ》

ヨンギ・パク=パーン 《ウムル》(泉)-七楽器のための

増田真結 チェロとトロンボーンのための二重協奏曲《ファフロツ

ジョージ・クラム マドリガル2集ーソプラノ、アルトフルート(フ ルート、ピッコロ)、打楽器のための

清水慶彦 トランペット協奏曲《アド・インフィニタム》(初演) 松永通温 ハープと室内オーケストラのための三章(改訂初演)

#### ♪An Evening of Art Songs~歌曲の夕べ~

日時:2011年1月28日(金)19:00 会場:兵庫県立芸術センター 小ホール

出演:三上やすき(34期声)

曲目:M. ラヴェル「5つのギリシャ民謡」

M. ラヴェル「Cinq melodies populaires Grecques」

#### ♪川村 顕オーボエリサイタル

日時:2011年3月6日(日)14:00 会場:ムラマツリサイタルホール新大阪 出演:川村顕(29期Ob)、滝沢誠友(23期CI)、

羽生尚代、小林浩、足立典子 曲目:ルイエ ソナタハ長調

サン・サーンス ソナタ

池上敏 二つの小品(初演)

プーランク ピアノ、オーボエ、ファゴットのための三重奏曲 モーツァルト ピアノ、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホル ンのための五重奏曲 変ホ長調 他

#### ♪Ensemble Metamorphose ~ソプラノ、クラリネット、ピアノ

日時:2011年3月24日(木)19:00 会場:京都市北文化会館 創造活動室

出演:小澤まり子(48期Pf)ほか 曲目:シュポア 6つのドイツ歌曲op.103

シェイベル 3つのモルゲンシュテルンの歌

ブルグミュラー 二重奏

シューベルト 岩の上の羊飼いD.965 他

#### ♪姉妹で奏でる声と笛 永野伶実・歌織 チャリティーコンサート

日時:2011年3月25日(金)19:00

会場:京都市西文化会館ウェスティー創造活動室

出演:永野伶実(55期FI)永野歌織(55期声)葉原日菜子(55期Pf)

曲目:平尾貴四男 フルートとピアノのためのソナチネ

山田耕筰 からたちの花・風に寄せてうたへる春のうた

林光 空

C. グノー『ロメオとジュリエット』より一ああ!何という戦慄が F. プーランク フルートとピアノのためのソナタ

A. アダン 「ああ、お母様きいてちょうだい」の主題による変奏曲

#### ♪デュオコンサート 音楽遠足vol.3 春の風、連弾の愉しみ

日時:2011年3月26日(土)14:00

会場:神戸芸術センター内2F シューマンホール

出演:瀬川和子(25期Pf)他

曲目:ブラームス ハンガリー舞曲 WoO.1より シューベルト 幻想曲op.103 D.940 ラフマニノフ 6つの小品op.11より ドボルザーク ボヘミアの森op.68

#### ♪島崎清先生米寿記念演奏会

日時:2011年3月27日(日)14:00 会場:京都市立京都堀川音楽高等学校ホール 出演:松田みゆき(46期Pf)、坪田久美子(33期Pf)、河野美砂子(24期Pf)、 上田明美(44期Pf)、松村佳奈(31期Pf)、齋川永子(21期Pf)、松坂

香織(42期Pf) 他

曲目:シューマン アヴェッリ変奏曲

ショパン 丹歌作品60

リスト ペトラルカのソネット47

ラヴェル ソナチネ1,3楽章

バッハ パルティータ第4番BWV828二短調より

#### ♪中井美内子ソプラノリサイタル

日時:2011年3月29日(火)19:00

会場:兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演:中井美内子(35期声)、土居知子(35期Pf)

曲目:廣瀬量平 春の歌

武満徹 「song」より〝死んだ男の残したものは〟

#### ♪アフター・アワーズ・セッション《春はウィーンの香り》

#### ~ウィーンゆかりの作曲家を集めて~

日時:2011年4月1日(金)18:30

会場:東梅田教会

出演:右近恭子(25期Pf)日比浩一(29期Vn) 松原央樹(29期CI)池村佳子(45期Vc)

曲目:W.A.モーツァルト フルートソナタK.13

F. P. シューベルト ピアノ三重奏曲第1番B-Dur D.898 A. v. ツェムリンスキー

リヒャルト・デーメルの詩による幻想曲集Op.9

#### ♪水野雅子・大嶋義実デュオリサイタル ~春に寄す~

日時:2011年4月10日(日)15:00

会場:京都府立府民ホール「アルティ」

出演:水野雅子(26期Pf)、大嶋義実(26期FI)

曲目: E. グリーグ 抒情小曲集 第3集Op.43より

L. v. ベートーヴェン ヴァイオリンとピアノのためのソナタOp.24

(スプリングソナタ) 他

#### ♪世界の仲間と語る会

#### 「音楽紀行―第5回知っているようで知らない!?沖縄の民謡post1945」

日時:2011年5月15日(日)14:00

会場:京都府国際センター

出演:照屋夏樹(55期音楽学·博2回生)田呈媛(院24期FI·博1回生)

曲目:沖縄民謡

#### ♪愛と祈りをこめて

日時:2011年5月22日(日)14:00

会場:京都府庁旧館ホール

出演:中島貴子(22期声)橋本尚(35期Pf)

曲目:モーツァルト モテットK.165より アレルヤ フォーレ 蝶と花

プッチーニ 「ラ・ボエーム」より 私の名はミミ

#### ♪ベートーヴェン~多川響子ピアノソナタ完全全曲リサイタルvol.7

日時:2011年5月22日(日)15:00

会場:ザ・フェニックスホール

出演:多川響子(44期Pf) 曲目:ベートーヴェン

ピアノソナタ第20番op.49-2 ピアノソナタ第29番op.106 選帝候ソナタWoO.47-2 「ハンマークラヴィーア」

#### ♪田呈媛&河合珠江 Flute and Piano Duo Concert

日時:2011年5月29日(日)18:30/6月1日(水)18:00 会場:5月29日中国・東北大学/6月1日中国・黒竜江大学

出演:田呈媛 (院24期FI・博1回生)、河合珠江 (51期Pf・博4回生)

曲目:サンカン ソナタ

ショパン 練習曲Op.10-12「革命」、

ワルツOp.64-1「子犬のワルツ」、64-2

ドビュッシー 練習曲第1、7番 サティ スポーツと気晴らし

#### プロコフィエフ ソナタ Op.94 ♪ピアノ・アンサンブル doux Vol.5

日時:2011年6月4日(土)15:00

会場:スタインウェイ東京 松尾ホール日比谷

出演:奥田章子(32期Pf)元木いずみ(32期Pf) 高橋知子(32期Pf)高橋律子(34期Pf)

曲目:スメタナ ロンドハ長調

ドビュッシー 神聖な舞曲と世欲的な舞曲

バッハ プレリュードBWV1007 サラバンドBWV1004

リスト ハンガリー狂詩曲第2番 他

#### ♪ Afternoon Concert

日時:2011年6月5日(日)13:00 会場:アマデウスサロン(四条大宮) 出演:膳ルミ子(48期Vn)Mayumi Matzen(49期Pf)

Max Matsen (Tp) 木野村望 (49期Va) 崎元蘭奈 (49期Vc)

曲目:アルビノーニ ピッコロトランペット協奏曲in Bb

モーツァルト ソナタB-dur KV292

イウェーゼン トランペット・ヴァイオリン・ピアノの為のトリオ

フォーレ ピアノカルテットNo.2 Op.45

#### ♪父の日ファミリーコンサート

日時:2011年6月19日(日)14:00

会場:西宮市山口ホール

士.

出演:奥田聖子(48期声)山本綾(50期Vn)

今井彩香(54期Pf)山本のりこ(声)

曲目:リスト ラ・カンパネラ

サラサーテ ツィゴイネルワイゼン

J. シュトラウス 春の声

ガーシュイン 「ポーギーとベス」より サマータイム 他

#### ♪小川友子ピアノ室内楽シリーズ V

日時:2011年6月26日(日)15:00

会場:大阪アーティスト協会

出演:小川友子(27期Pf) 他

曲目:ベートーヴェン ピアノ三重奏曲第3番 ハ短調作品1-3

ドヴォルザーク ピアノ三重奏曲第3番 へ短調作品65

#### ♪35thMusic gallery (第35回ミュージックギャラリー)ソロからトリオまで

日時:2011年7月2日(土)14:30

会場:ムラマツリサイタルホール新大阪

出演:尾崎未佳(35期Vn)、武田佳美(34期Pf)、高橋宏明(33期VI) 曲目:モーツァルト ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 変ロ長調 KV454

ブラームス ピアノ三重奏曲第一番 ロ長調 他

#### ♪鈴木愛子 ピアノリサイタル

日時:2011年7月3日(日)14:30

会場:音楽空間 ネイヴ

出演:鈴木愛子(44期Pf)中里美沙(44期FI)

細辻秀美(40期Vc)尾崎望(43期Va)

曲目:モーツァルト ピアノ協奏曲第20番ニ短調(カール・ツェルニー編曲)

ドビュッシー 月の光

ファリャ スペイン舞曲第1番 他

#### ♪髙木知寿子ワルシャワピアノトリオコンサート

日時:2011年7月16日(土)15:00

会場:京都会館 第2ホール

出演:髙木知寿子(27期Pf) 他 曲目:チャイコフスキー 花のワルツ

ラフマニノフ ヴォカリーゼ

ピアソラ ヴェノスアイレスの秋

メンデルスゾーン ピアノ三重奏曲第1番 第一楽章

#### ♪ポーランドフェスティバル in エルセラーン

#### 髙木知寿子 ワルシャワピアノトリオ

日時:2011年7月17日、18日 会場:エルセラーンホール

出演:髙木千寿子(27期Pf) 他

曲目:(17日) クララ・シューマン ピアノ三重奏曲作品17

ラフマニノフ ピアノ三重奏曲第1番

\*悲しみの三重奏曲、ト短調 他

(18日) 唱歌 もみじ

パガニーニ ソナタop. 2-6 イ短調

スメタナ モルダウ 他

#### ♪海の日におもうこと -東日本大震災・クライストチャーチ大地震

・雲南省地震チャリティーコンサート-

日時:2011年7月18日(月:祝)15:00

会場:カトリック草津教会

出演:中村典子(32期作)、石若雅弥(50期作)、奥田聖子(48期声)、村辺恵 奈(53期声)、菊田義典(42期声)、渡里拓也(院22期Pf)、岸本佳美(Pf)、 田呈媛(院24期、博1回生)、呉山平煥(Ob)、大津よし笛トゥッティ

曲目: 文部省唱歌 海 (編曲: 渡里拓也)

石若雅弥 君死にたもうことなかれ(詩:与謝野晶子)

林光 空(詩:谷川俊太郎)

沢知恵 こころ(詩:金東鳴、訳詩:金素雲)

L. バーンスタイン さあ、畠を耕そう(キャンディードより)

中国民謡 瑶族舞曲(編曲:中村典子)

バッハ 主よ人の望みの喜びよ

河副功 Ballade pour piano et flute(初演)

金スヒョン HON for flute and piano(初演)

中村典子 光・抱容・川のほとりのこもりうた・かしの木の歌

(詩:中村典子)・稗搗節交聲(初演)

朴実 愛の組曲(詩:室生犀星、立原道造、谷川俊太郎)・新しい道・ たやすく書かれた詩(詩:尹東桂)・ウリエアボジオモニヨ!(詩:

金潤)

#### ♪平野佳恵 ソプラノリサイタル

日時:2011年7月31日(日)14:00

会場:瑞浪市文化センター 大ホール

出演:平野佳恵(51期声) 他

曲目:ヴォルフ イタリア歌曲集 より シューベルト Die Meanner sind Mechant

バーンスタイン 「キャンディード」より Glitter and be Gay

#### ♪トリオ・ダンシュ・デ・コロン

#### ~大正時代の洋館建築で味わうヨーロッパ音楽の粋~

日時:2011年8月4日(木)19:00

会場:大阪倶楽部 4階ホール

出演:水間博明(27期Fg)、右近恭子(25期Pf) 他

曲目:プーランク ピアノとオーボエとファゴットのための三重奏曲

J.S.バッハ インヴェンションより第1番、8番、4番(木管三重奏)

F. ブルグミュラー 25の練習曲op.100より(木管三重奏)

ガーシュイン I Got Fascinatin' Rhythm 他

#### ♪ムソルグスキーに乾杯

日時:2011年8月26日(金)19:00

会場:ザ・フェニックスホール

出演:藤原さおり(46期声)、クラウディオ・ソアレス、片山優陽

曲目: M. ムソルグスキー 組曲「子供部屋」、組曲「死の歌と踊り」、

組曲「展覧会の絵」 他

#### ♪京都市立芸術大学音楽学部同窓会・真声会京都支部による

#### 第28回プロムナードコンサート

日時:2011年8月28日(日)14:00

会場:京都府民ホールアルティ

出演:細辻秀美(40期Vc)、木下亜子(40期Pf)、佐藤紀子(8期Vn)、福井真 裕子(34期Pf)、藤美千代(43期声)、江口純子(54期Vn)、渡辺明日 香(54期Vn)、岡本名那子(52期Va)、岡田真理子(Va)、江口陽子 (51期Vc)、小棚木優(56期Vc)、丸尾美紀、小上多衣子

曲目:シューマン 5つの民謡風小品

プッチーニ オペラ「ジャンニ・スキッキ」より'私のお父さん' ベートーベン ピアノソナタ第14番 嬰ハ短調 作品27の2 「幻想曲風に」

マーラー 春の朝、思い出、美しいトランペットの鳴り響く所

ブラームス 弦楽六重奏曲 第1番 変ロ長調 作品18 他

#### ♪チェンバーコンサート Vol.2

日時:2011年9月2日(金)18:30

会場:京都堀川音楽高等学校ホール

出演:井尻和喜(50期Vn)波多野聖子(50期Pf)石塚俊(54期Vc)

三輪めぐみ(56期Vn)佐本博子(56期Va)森田良平(院在学中Cb)

曲目: P. サラサーテ ツィゴイネルワイゼン Op.20

W. A. モーツァルト 弦楽四重奏曲 変ホ短調 K.428

F. プーランク 主題と変奏

F.シューベルト ピアノ五重奏曲 イ長調 D.667「ます」

#### ♪松田麻実・上田明美デュオリサイタル

## ~グリーグヴァイオリンソナタ全曲演奏会~

日時:2012年1月9日(月:祝)14:00

会場:びわ湖ホール 小ホール

出演:松田麻実(桐朋卒)上田明美(44期Pf)

曲目:オールグリーグプログラム

ます。どうぞご了承ください。

ヴァイオリン ソナタ 第1番 ヘ長調 作品8 ヴァイオリン ソナタ 第2番 ト長調 作品13

ヴァイオリン ソナタ 第3番 ハ短調 作品45

※演奏会の真声会後援および会報掲載は会費納入者のみとさせて頂いており

藤岡由美子氏(27期声楽)が1月17日ご逝去されました。 稲川淑子氏(15期ヴァイオリン)が1月28日ご逝去されました。 謹んで心からお悔やみ申し上げます。



3月の東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。関西では、震災直後にミネラルウォーターや乾電池が店頭から消 える……ということはあったものの、日常生活にはまったく影響がなく、東北や関東の方たちに大変申し訳なく思いながらいつも通りの生活 を送っております。ただ、東京で予定していた演奏会が延期になったり、せっかく録音したCDの発売が遅れたり、音楽活動には若干の影響 アリ。色々なことが早く元通りになってほしいと祈るばかりです。

また、桜は咲いても寒かった4月。5月には早くも梅雨入りした上、台風が2つもやってきた。春をすっ飛ばして夏突入!日本の四季はど こへやら?それでも確かに時は過ぎていき、今号が現役員での最後の会報発行となりました。先は長いと思った4年前ですが、終わってみれ ばあっという間でした。ここまでご協力くださった皆様に心よりお礼申し上げます。